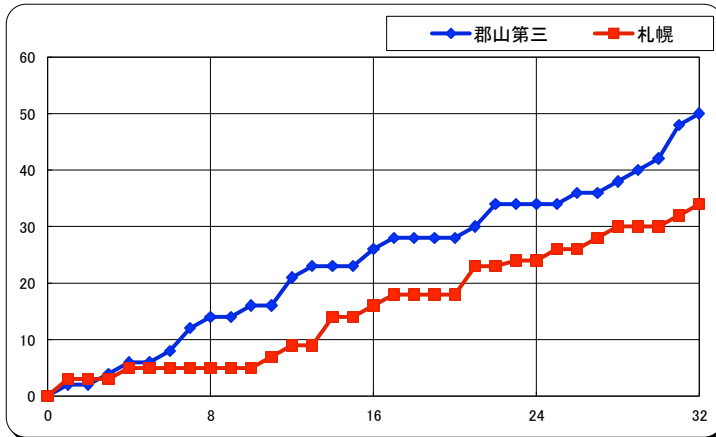




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

【得点経過】



【BOXスコア】

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	善通寺市民体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 10:50																
コート	Bコート	第2試合															
カテゴリー	女	予選リーグN															
主審	石川 貴基	(岡山)															
副審	関 育代	(香川)															
Team A		Team B															
郡山第三	50	34 札幌															
福島県		北海道															
○		●															
	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>5</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14	1st	5	12	2nd	11	8	3rd	8	16	4th	10		OT		
14	1st	5															
12	2nd	11															
8	3rd	8															
16	4th	10															
	OT																

Team A	郡山第三						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	齋藤 菜々子	×	6	0	3	0	5
5	佐川 愛梨	×	8	0	4	0	2
6	小室 美旺	×	16	0	8	0	1
7	小出 珠夕	／	2	0	1	0	0
8	神田 紗希	／	7	1	2	0	2
9	上田 裕希	DNP	0	0	0	0	0
10	佐川 あいり	×	11	3	1	0	1
11	生方 華奈	×	0	0	0	0	0
12	加藤 千晶	DNP	0	0	0	0	0
13	樋口 奈々	DNP	0	0	0	0	0
14	常恒 菜羽	DNP	0	0	0	0	0
15	後藤 美咲	DNP	0	0	0	0	0
16	松山 美紅	DNP	0	0	0	0	0
17	添田 亜美	DNP	0	0	0	0	0
18	堀内 有彩	DNP	0	0	0	0	0
監督	松村 正勝						0
コーチ	平野 誠一						0
合 計			50	4	19	0	11

Team B	札幌						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	木村 なな子	×	5	1	1	0	1
5	遠山 佳奈	×	9	0	3	3	1
6	引田 みやび	／	1	0	0	1	1
7	植山 菜々子	×	2	0	1	0	3
8	須藤 真由	×	12	0	5	2	4
9	柏木 紬	×	5	1	1	0	2
10	植田 珠世	DNP	0	0	0	0	0
11	牧内 彩来	DNP	0	0	0	0	0
12	藤本 美優	DNP	0	0	0	0	0
13	杉ノ原 雪衣	／	0	0	0	0	0
14	松平 華穂	DNP	0	0	0	0	0
15	片山 優	DNP	0	0	0	0	0
16		DNP	0	0	0	0	0
17		DNP	0	0	0	0	0
18		DNP	0	0	0	0	0
監督	和田 圭吾						0
コーチ	金輪 真琴						0
合 計			34	2	11	6	12

【戦評】

北海道ブロック代表清田と四国ブロック代表丸亀南の一戦。両チームマンツーマンDefでスタート。清田は#4のリバウンドショットやミドルシュートでポイントを重ねていく。対する丸亀南は、清田の激しいDefの前に#5、#9の3Pシュートで応戦するが1Qを20対6で終了。2QともにDefにマンツーマン。清田は#15のインサイドにボールを集め攻撃する。また速攻でも#15が走り次々と得点を重ねる。高さのある攻撃に丸亀南も懸命にDefし応戦する。対する丸亀南もインサイドにボールを集めた後、アウトサイドシュートを中心に攻撃する。#6のミドルシュートや#9のリバウンドシュートで得点を重ね前半を43対13で終了。

3Q丸亀南の3Pでスタート。Defでも丸亀南は1-3-1のゾーンDefに切り替え流れを変えようとする。しかし、清田は引き続き#15の高さを使ったOffと#4、#6の3Pを中心に組み立て得点を重ねる。丸亀南も中盤に6番のドライブや#8のリバウンドシュートで得点するが、3Qを70対22で終了。4Q清田は2-2-1のオールコートゾーンDefをしかける。丸亀南はボールキャリアに苦しむ中、#9のミドルシュートやドライブに合わせた#6のシュートで得点する。また、丸亀南は残り4分に#8のフリースローをきっかけに1-2-1-1のオールコートゾーンプレスDefをしかけパスカット等で得点を重ねるが、清田の高さあるOffが際立った試合となり89対36で終了する。

【戦評記入者】

遠山 孝昭